



かさおか



『残暑お見舞い 申し上げます』



笠岡今はむかし物語

その六

笠岡駅のすぐ東に、大正15年に建設された陸橋がありました。通勤、通学、あるいは海水浴など、多くの人がこの鉄道横断陸橋を利用していました。しかし、60年余りが経って老朽化が進んでいたことから、地下道の建設を機に、昭和60年6月27日に撤去されました。

また、この陸橋の東には「開かずの踏切」と呼ばれた八軒屋第2踏切がありました。この踏切も駅東地下道の開通に伴い昭和61年2月1日13時に閉鎖されました。

笠岡の町は駅前区画整理事業によって大きく変貌しており、昔の懐かしい景色は写真でしか見ることが出来ませんが、当時の街角などを感じ浮かべて頂ければ幸いです。

まちづくり協議会では古い写真を探していますので、ご協力くださいます様よろしく願います。

(写真提供 笠岡市)

8月の行事予定

- ・8月10日(木) 18:30～令和5年第4回総務部会を予定
- ・8月12日(土) 14:30～令和5年第5回文化部会を予定
- ・8月20日(日) 10時～令和5年第3回役員会を予定



7月1日付で地域担当職員の異動がありました。

- ・小林 修 (再任) 都市計画課
 - ・柏崎 嘉宏 (新任) 総務課
 - ・吉岡 久遠 (新任) 建設事業課
- よろしく願います。

『笠岡地区まちづくり協議会』

事務所：笠岡市笠岡2627番地
「井戸会館」内

電話：63-5949

Fax：75-0101

E-mail：zukuri2@mx1.kcv.ne.jp

開館日：月・水・金曜日 14時～17時

☆防災の知識 「減災」とは

減災は、災害の被害を最小限に抑えるための備えを意味します。

減災で重要なのは、「公助」「自助」「共助」の円滑な連携です。とくに自分自身や家族の身を守るため、また地域の人々と助け合うために、日頃から災害に備える事前対策を行うておくことが重要です。



①自助と共助

減災において、とくに重要なのが自助と共助です。まずは自分自身の身を守ること、そして、自分自身や家族が無事であることが前提のうえで、身の回りの人を助けることができます。自助があってこそ共助が成り立つ、ということをお忘れはいけません。

災害が起きてからでは手遅れです。一人ひとりが努力をする、事前の災害への備えをすることで、自然災害による被害を最小限に抑えることが可能です。たとえば、

- ・自分になにができるのか、なにをしておくべきか
 - ・家族でできることはなにか
 - ・地域の人々と協力してできることはなにか
- ということを日頃から意識することで、災害による不測の事態に備えておきましょう。

— 続 く —

☆SDGs に取組みましょう その③

食品や日用品を使い切る

特売で買った食材が、冷蔵庫に眠ったまま賞味期限を迎えていませんか？

家庭で出る廃棄を減らすのも、個人でできるSDGsの取り組みの1つです。なるべく捨てずに使い切る習慣を身につけましょう。

ゴミを減らし、海洋資源や生態系を守ることににつながるだけでなく、食料の安定的な確保や価格の安定にもつながります。

忘れずに使い切ることも大切ではあるものの、使い切るために消費期限を延ばす工夫や、早く使い切る工夫をするのも効果的です。

キャベツの芯やブロッコリーの茎は捨てずに食べる、すぐ食べないお肉は冷凍する、洗剤は種類を増やさない（他のもので代用して使い切る）

など。自分のライフスタイルに合った工夫を見つけてみて下さい。

編集後記

全国各地で異常気象による豪雨災害が多発しており心からお見舞いを申し上げます。

さて、新型コロナは5類に移行し、地方によっては増加の傾向がみられることから、第9波との判断も出ているようです。

私たちは、基本的な感染対策を続けながら、この暑さを乗り切って参りましょう。
I・M



飢餓をゼロに つくる責任 つかう責任 海の豊かさをまもろう 陸の豊かさもまもろう

いと IDOシネマのご案内

今年の8月15日は終戦から78年、平和がどれほど大切に尊いものなのか「平和祈念上映会」を鑑賞して平和の尊さを再認識しましょう。

☆8月6日(日)午前10時開演 **無料**

笠岡小さな映画館プロジェクト